

2026年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 2 月12日

上 場 会 社 名 株式会社サトー商会 上場取引所 東  
コ ー ド 番 号 9996 URL http://www.satoh-web.co.jp  
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 古山 眞佐夫  
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 下山田 信一 （TEL） 022-236-5600  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 3 月期第 3 四半期の連結業績（2025年 4 月 1 日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	38,726	2.6	1,381	△3.3	1,605	△2.1	1,093	△2.7
2025年 3 月期第 3 四半期	37,744	3.9	1,428	7.8	1,640	9.5	1,123	10.0

（注）包括利益 2026年 3 月期第 3 四半期 1,120百万円（ 2.4%） 2025年 3 月期第 3 四半期 1,094百万円（ 5.0%）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年 3 月期第 3 四半期	131.07	—
2025年 3 月期第 3 四半期	134.77	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	40,692	27,005	66.4
2025年 3 月期	35,597	26,268	73.8

（参考）自己資本 2026年 3 月期第 3 四半期 27,005百万円 2025年 3 月期 26,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2026年 3 月期	—	23.00	—		
2026年 3 月期（予想）				23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3 月期の連結業績予想（2025年 4 月 1 日～2026年 3 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	50,000	1.8	1,520	△8.9	1,770	△9.0	1,200	△8.8

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	9,152,640株	2025年3月期	9,152,640株
2026年3月期3Q	812,426株	2025年3月期	812,426株
2026年3月期3Q	8,340,214株	2025年3月期3Q	8,340,315株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概要 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概要 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概要

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境などの改善により、景気はゆるやかな回復基調で推移しております。一方で、不安定な国際情勢によるエネルギー・資源価格の高騰、人件費や物流費の上昇等による物価上昇、米国の通商政策、為替変動の影響など不透明な状況が継続しております。当社が経営基盤としている東北におきましては、設備投資増加や賃金上昇により景気は持ち直しの動きが見られますが、消費者物価は前年を上回るなか、消費者の節約志向が更に強まっている状況です。

このような経営環境のもと当社グループは、2030年を見据え「食をコアとしたマーケティング・ソリューションカンパニー～豊かな食文化の地方創生に貢献する企業へ～」をスローガンとし、「強い営業力で更なる深耕拡大」を2025年度の経営方針として掲げ、顧客のニーズを満たすため、セグメント業種を超えた商品開発や東北地産品の継続した販売拡大とその他の地域の地産商材の活用と推進を行っております。また、設備の老朽化もあり、山形地区の更なる営業力の深耕拡大を果たすべく2024年より建設工事を行っていた山形営業所を2025年11月に移設し、当社では初めての自然冷媒や太陽光発電設備を設置するなど環境に配慮した社屋が完成しました。

この結果、売上高387億26百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益は13億81百万円(同3.3%減)、経常利益は16億5百万円(同2.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億93百万円(同2.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、継続的な物価上昇や人手不足とそれに伴う人件費コストの上昇傾向など当社の顧客を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。そのような中、当社では、お客様の現場の課題を解決できる商品の開発や企画を推進し、人手不足対応商品(簡便性・時短調理)や、お客様の売上アップに貢献できる商品(こだわり、メニュー)の提案に注力してきました。また、営業施策として選択と集中を行い、各商品カテゴリーのシェアアップを目標に、業種別に伸びしろのある商品カテゴリーを集中販売し、新規商品の導入やお客様が求める商品の販売拡大につなげることが出来ました。一方、人件費の増加などで販売管理費が増加したこともあり、結果、売上高338億1百万円(前年同四半期比3.8%増)、セグメント利益(営業利益)は17億84百万円(同0.2%減)となりました。

小売業部門におきましては、継続的な物価上昇を背景に消費者の生活防衛意識は依然として高く、業種業態の垣根を越えた競争も激しさを増しており、経営環境は厳しい状況が続いております。また、店舗運営にかかる人件費や物流費等が上昇しているとともに、人手不足も深刻化しており、より生産性の高い店舗運営が求められております。主要顧客である中小飲食店様に対して、地産品を活用したメニュー提案企画を開始するなど販促行動を強化し、継続して顧客のニーズや課題解決に向けた提案会の開催や試食販売等の販促活動を行っております。

また、ツルハ店舗内店舗として、10月に北上店(岩手県)、12月に横手平鹿病院前店(秋田県)を新規開店し、当社のツルハ店舗内店舗数は合計17店舗となりました。当社の認知度の向上、新規顧客を獲得するなど近隣のお客様に利便性の高い店舗であることを認知いただき好評を得ております。店舗の人員配置や、販促手法の費用対効果を見直すなどコスト削減につとめた結果、売上高49億25百万円(前年同四半期比4.7%減)、セグメント利益(営業利益)は2億68百万円(同19.0%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
製菓業種 (千円)	6,321,248	105.2
弁当給食業種 (千円)	3,347,205	99.7
事業所給食業種 (千円)	2,733,105	99.7
メディカル給食業種 (千円)	4,782,624	106.8
学校給食業種 (千円)	3,166,152	102.7
外食業種 (千円)	6,207,772	102.7
惣菜業種 (千円)	6,252,120	105.3
その他 (千円)	991,020	107.1
計 (千円)	33,801,250	103.8
小売業部門 (千円)	4,925,017	95.3
合計 (千円)	38,726,267	102.6

(注) 小売業部門の業種別は該当ありません。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概要

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ50億95百万円増加し、406億92百万円となりました。これは主に、四半期連結累計期間の末日が銀行休業日となり、決済が月ずれとなったことに伴う現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

### (負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ43億58百万円増加し、136億86百万円となりました。これは主に、四半期連結累計期間の末日が銀行休業日となり、決済が月ずれとなったことに伴う支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ7億37百万円増加し、270億5百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.4%(前連結会計年度末73.8%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,724,149	4,946,163
受取手形及び売掛金	4,826,802	6,573,990
有価証券	7,000,000	6,701,180
商品	2,980,410	3,623,518
その他	612,075	561,503
貸倒引当金	△15,983	△12,761
流動資産合計	17,127,454	22,393,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,027,274	2,864,849
土地	3,589,079	3,780,316
その他（純額）	1,118,796	735,523
有形固定資産合計	6,735,150	7,380,688
無形固定資産	148,255	163,552
投資その他の資産		
投資有価証券	9,506,389	8,748,417
その他	2,087,279	2,015,443
貸倒引当金	△7,288	△8,899
投資その他の資産合計	11,586,381	10,754,960
固定資産合計	18,469,786	18,299,201
資産合計	35,597,241	40,692,796
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,322,914	10,994,669
短期借入金	683,000	683,000
未払法人税等	361,000	118,300
賞与引当金	410,655	219,551
その他	1,151,121	1,205,434
流動負債合計	8,928,692	13,220,955
固定負債		
役員退職慰労引当金	208,809	219,548
退職給付に係る負債	62,687	66,805
資産除去債務	92,229	92,515
その他	36,266	87,121
固定負債合計	399,994	465,990
負債合計	9,328,686	13,686,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,744	1,441,744
利益剰余金	24,318,790	25,028,326
自己株式	△999,472	△999,472
株主資本合計	26,166,862	26,876,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,680	78,520
退職給付に係る調整累計額	52,011	50,931
その他の包括利益累計額合計	101,692	129,452
純資産合計	26,268,555	27,005,850
負債純資産合計	35,597,241	40,692,796

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	37,744,489	38,726,267
売上原価	29,392,646	30,197,838
売上総利益	8,351,843	8,528,428
販売費及び一般管理費	6,923,161	7,146,959
営業利益	1,428,682	1,381,469
営業外収益		
受取利息	100,769	132,511
受取配当金	10,073	12,588
持分法による投資利益	21,439	16,362
受取賃貸料	80,910	80,251
その他	47,215	27,592
営業外収益合計	260,408	269,305
営業外費用		
支払利息	2,060	3,178
賃貸収入原価	46,311	35,914
その他	—	5,684
営業外費用合計	48,371	44,777
経常利益	1,640,719	1,605,996
特別損失		
固定資産除却損	1,385	3,891
特別損失合計	1,385	3,891
税金等調整前四半期純利益	1,639,333	1,602,104
法人税、住民税及び事業税	410,442	411,517
法人税等調整額	104,893	97,401
法人税等合計	515,335	508,919
四半期純利益	1,123,997	1,093,185
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,123,997	1,093,185



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,123,997	1,093,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,133	28,840
退職給付に係る調整額	△2,650	△1,080
その他の包括利益合計	△29,783	27,759
四半期包括利益	1,094,213	1,120,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,094,213	1,120,945
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	32,577,381	5,167,108	37,744,489	—	37,744,489
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	32,577,381	5,167,108	37,744,489	—	37,744,489
セグメント利益	1,788,984	225,574	2,014,558	△585,875	1,428,682

(注) 1. セグメント利益の調整額△585,875千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	33,801,250	4,925,017	38,726,267	—	38,726,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,801,250	4,925,017	38,726,267	—	38,726,267
セグメント利益	1,784,784	268,415	2,053,200	△671,731	1,381,469

(注) 1. セグメント利益の調整額△671,731千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	301,706千円	285,118千円